

今回紹介する団体: 水土里ネット徳島

## 取組概要

内容:

「農業水路等長寿命化・防災減災事業」で新たに拡充された「施設情報整備・共有化対策」を活用して「資産評価データ整備事業」で整備された土地改良施設図及び「水土里情報利活用促進事業」で整備を行った農地筆の地図情報を整備し、地図情報の利活用が可能なパソコンを有している土地改良区に無料の地理情報システム(QGIS)と併せて提供することで、地図情報のシステム化・共有化を図る。

経緯:

- ① 本地図情報はインターネットに接続されたパソコンが動作条件となっており、令和3年度に県内全ての土地改良区(121土地改良区)にアンケートを実施し、事務所の有無・パソコンの利用状況を確認。
- ② 令和4年度に希望する土地改良区に出向き、水土里情報データの利活用方針・要望事項等を聞き取るとともにQGISのインストール・設定および操作説明・マニュアルの配布を行う。

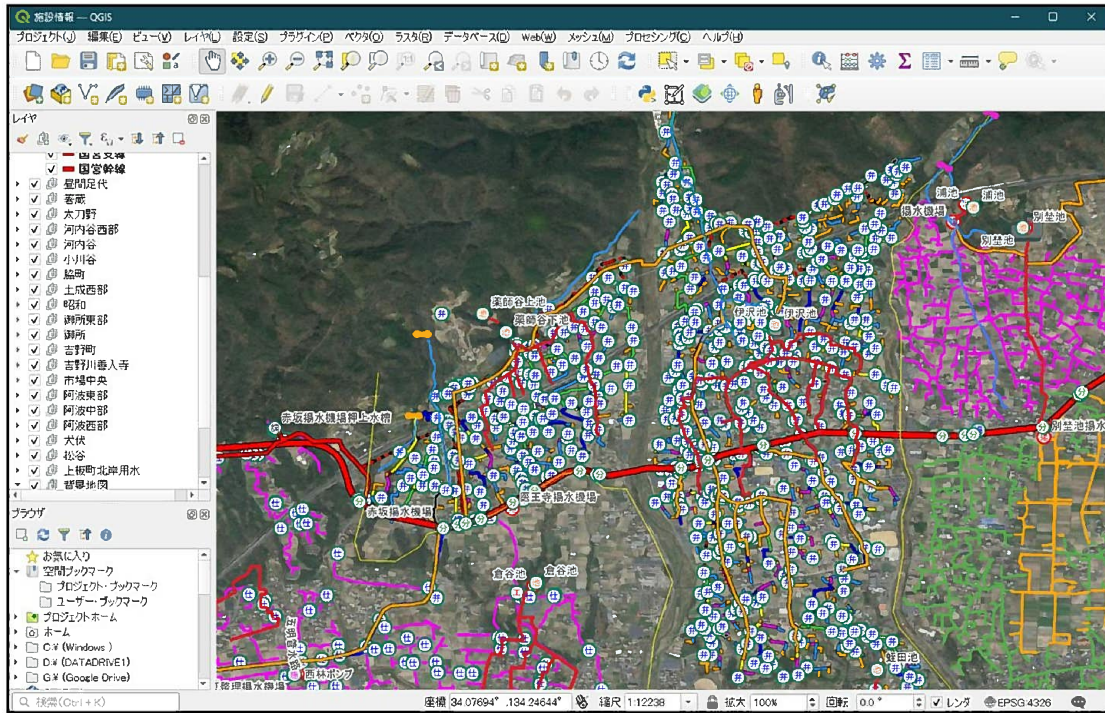
## 取組による効果

水土里情報データを利用するためには、「徳島県水土里情報利活用促進協議会」への加入が必須条件であるが、令和3年度末(令和4年3月31日)時点の土地改良区の加入状況は16団体と低迷していた。

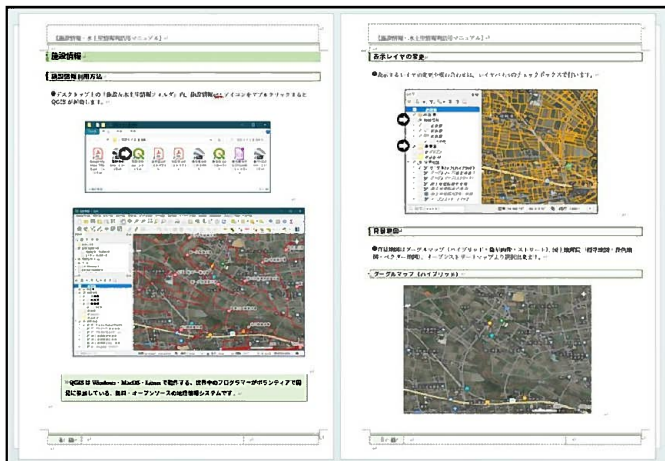
ほとんどの土地改良区は、施設台帳や図面等の管理資料の大半が紙ベースで、土地改良施設の管理や確認作業に多大な労力と時間を費やしているのが実情であり、この度の資産評価データ等を地理情報システム(QGIS)で管理することにより、事務の簡素化及び土地改良施設の維持管理の省力化に繋がることから令和4年度は新たに19土地改良区が「徳島県水土里情報利活用促進協議会」に加入した。

令和5年度も10以上の土地改良区から地図情報利用の要望があるため、協議会への新規加入が見込める。

## 施設情報(QGIS)



### 配布マニュアル



### オンラインマニュアル



## 今後の活用予定

県・市町村・土地改良区が資産評価データを共有化することにより、有事の対応のみならず、土地改良施設の長寿命化にも寄与できる。

既に「徳島県水土里情報利活用促進協議会」の会員である県及び市町村には、地理情報システム(QGIS)を配布していることから、今後は土地改良区を含めた各団体同士のデータ連携等を行う。

## GISシステムのバージョン情報

QGIS Ver3.28

### ■お問い合わせ先

徳島県土地改良事業団体連合会 換地支援課

(088-626-3936)